

## オカヨシガモ（カモ科） 全長 50 センチ

冬鳥として、毎年大浦沼に飛来するオカヨシガモ。

今までは2〜3羽程度しか観察されていなかったが、なぜか今シーズンは20羽前後も現れたのです。まもなく初雪の便りが届きそうな11月15日、寒空のなか大浦沼の水面にはコガモ、オオバン、オナガガモなどが羽を休めていた。

その中で、地味な褐色であまり目立たないオカヨシガモ。パッと見ると、何のカモか直ぐには判別できません。そんなオカヨシガモであるが、結構な警戒心があることからじっくりと撮影できません。ここ大浦沼は禁猟区に指定されていないことから、11月1日の解禁日には6〜7人のハンターが押し寄せました。



隠れていた蓮の葉から、出てきました。（オス）

最初の銃声に怯えたカモ類は、当然のように数キロ離れた禁猟区へと飛び去ってしまい、沼の中は空っぽとなってしまいます。

それから一週間も経つとハンター達は諦めたのでしょうか、誰も近寄らなくなりました。今は静かな大浦沼が戻ってきましたが、安心はできません。何かの音や怪しい人影にも敏感に反応し、一斉に飛び去ってしまいます。



オスの翼の下は白っぽい。



メスも地味ですね^^。

それでも、再び枯れた蓮の葉に身を隠すように戻ってきました。  
渡りの中継地として立ち寄ったカモたちは、体力をつけると次の場所へと移動していくことでしょう。



オス（左）メス並んでスイスイと。



奥のカモは、ヨシガモのオス。